

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想骨子案

＜地区の概況＞

- 歴史
  - ・昭和 7 年の鶴ヶ島駅開業、戦後の開拓を経て、早い時期に市街化が進行し、古くから本市の活力をけん引
- 都市機能
  - ・商店街が形成され、生活利便施設や公共公益施設が立地し、暮らしやすい地区
- 人口動向
  - ・直近の人口動向は、鶴ヶ島駅通りや共栄鶴ヶ丘線周辺で増加傾向
  - ・地域全体で高齢化が進行しており、特に上広谷の住宅街でその傾向が顕著
  - ・将来人口は、地区全体で人口減少・少子高齢化が進行する見通し

＜市民アンケート＞

- 鶴ヶ島駅周辺地区の現状に対する評価
  - ・「快適な時間を過ごす場所がある」「子どもの遊び場がある」「交通の安全性」が、重点的に改善が必要な項目（満足度が低く、重要度が高い項目）と評価
- 将来に向けた重要な課題
  - ・「道路空間の整備」が 5 割と最多、次いで「商店街の活性化」、「歩くことが楽しいと感じられるまちの整備」が 4 割
- 「道路空間の整備」について重要な取組
  - ・「歩行者の安全対策」が 7 割と最多、次いで「バリアフリー対策」、「自転車の安全対策」が 5 割、「道路の美観と歩行空間の確保」が 4 割
- 「商店街の活性化」について重要な取組
  - ・「道路と沿道空間の一体的整備と一体的利用」が 6 割と最多、次いで「空き地の活用」、「空店舗の活用」が 5 割
- 「新しい公共施設（地域交流センター等）の整備」について重要な機能
  - ・「飲食・物販・サービス機能」、「自然や緑豊かな癒し・休憩機能」が 5 割、次いで「図書館機能」、「保育支援・遊び場機能」が 3 割

＜団体ヒアリング＞

- ・子育て世代は、子どもの安全が何より大切である（交通安全、防犯の両面から）。
- ・高齢者が増えている。外出しやすい環境づくりや、利用しやすい施設が欲しい。
- ・駅通りの歩行者の安全確保が課題である。車が速度を出しにくい仕掛けが欲しい。
- ・商店の事業継続（高齢化、後継者不足）や空き店舗の活用等が課題である。
- ・商業者や事業者の中で担い手づくりを進めて事業を展開することもある。
- ・文化会館は、自治会の集会所と備蓄場所として使用している。南市民センターと複合化しても、自治会が優先して使用できるようにして欲しい。
- ・駐車場が足りない（地域交流センター及びガーデンパークの両方とも）。

＜まちづくりワークショップ＞

- 鶴ヶ島駅通り
  - ・昔ながらの商店街で店が多く、人が温かい。
  - ・サマーカーニバルでは 2～4 万人がにぎわう。
  - ・空き店舗や空き家を有効活用できるとよい。
  - ・親子が手を繋いで歩けない。
  - ・車がものすごいスピードで走っていて危険。
- 共栄鶴ヶ丘線
  - ・歩道がない区間があり、危険。
  - ・鶴ヶ島駅通りの交差点の見通しが悪い。
- その他
  - ・機能が集積しており、全体がコンパクトである。
  - ・閑静な住環境である。
  - ・高齢化により空き家が増加する可能性あり。
- ガーデンパーク・鶴ヶ丘児童公園
  - ・自然の豊かさがあり、富士山が見えるスポットである。
  - ・企業と地域が連携して一体的に利用することができる。
  - ・親子が近場で利用できる場になるとよい。
  - ・イベント時に来訪者の路上駐車や住宅地への通過交通が心配であり、全国から人が来ることに對しての対策が必要。
  - ・植栽の維持管理をどうしていくか考える必要がある。
- 鶴ヶ島文化会館
  - ・地域コミュニティの活動拠点として、人が集まりやすく、今後も活用できる。
  - ・住民の拠り所となる施設になるとよい。
  - ・施設が老朽化していて、敷地も狭く、駐車場が小さい。

＜まちづくりの主要課題＞

道路交通の  
安全性向上

快適で歩きやすい  
歩行空間の確保

商店街の魅力向上  
とにぎわい創出

ガーデンパーク  
の利活用

新たな交流拠点  
の整備

＜鶴ヶ島駅周辺地区の将来像＞

○○○○○○なまち

【キーワード】  
「生活環境の向上」「地域の活性化」

鶴ヶ島駅周辺地区では、今後、更なる人口減少・少子高齢化の進行が見込まれます。

そのため、安全で快適な歩行空間の創出や魅力ある商店街づくり等により、歩行者中心の充実した暮らしの確保を図ります。また、ガーデンパークの活用や新たな交流拠点の整備等により、地域住民をはじめとした人々の憩い・交流・にぎわいが創出されるよう、様々な関係者が協働しながら一体的なまちづくりに取り組みます。

そして鶴ヶ島駅周辺地区がいつまでも活力にあふれ、誰もが笑顔になり、安心して住み続けられる、○○○○○○なまちを目指します。

＜まちづくりの方針＞

安全で居心地が良く歩きたくなる  
道路空間の形成

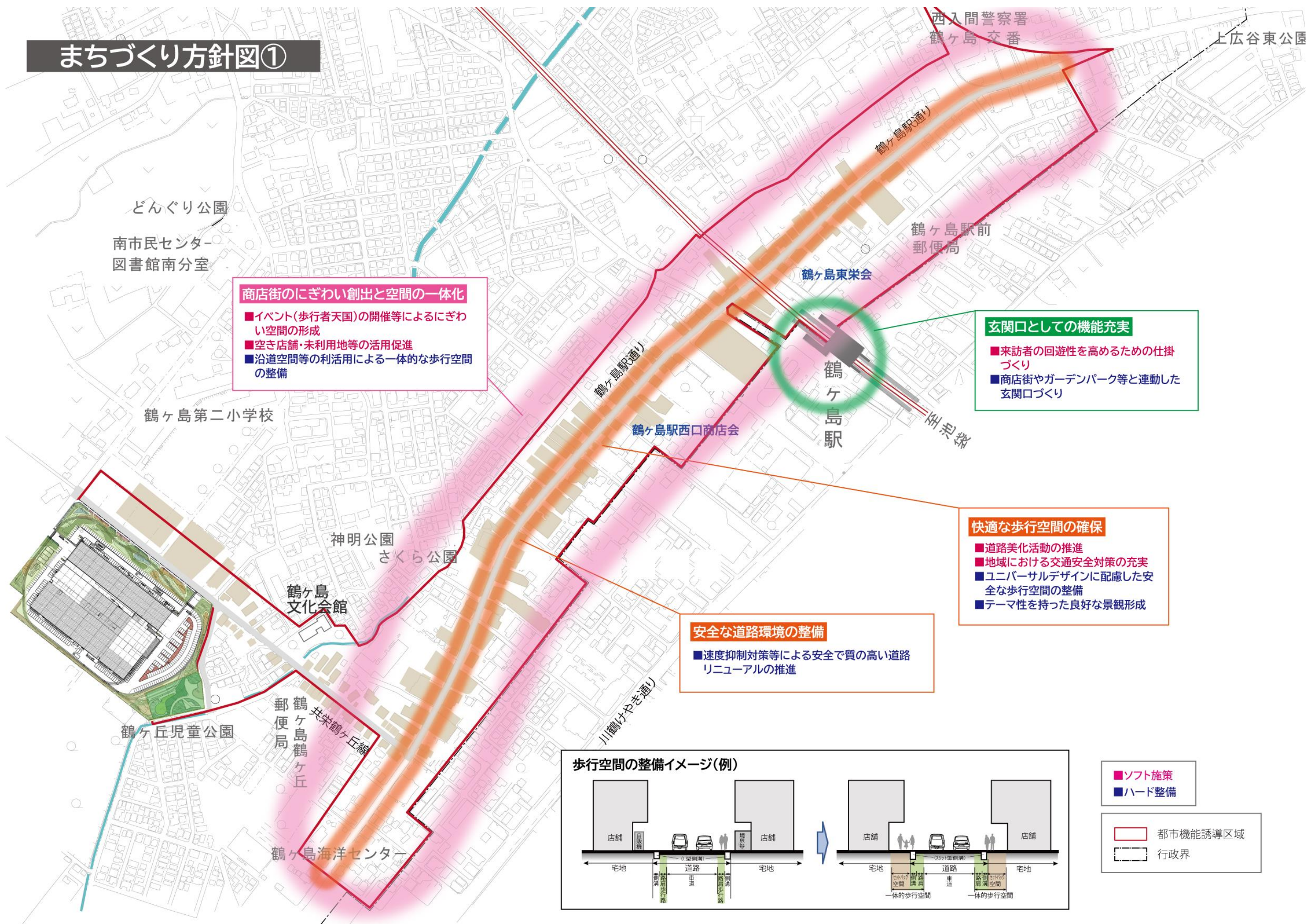
生活を支え活力を生み出す  
魅力ある商店街づくり

地域と一体となった  
ガーデンパークの活用

公共施設再編による  
地域交流施設の整備



# まちづくり方針図①





## まちづくり方針図②

### ガーデンパーク

#### 地域住民が日常利用できる公園づくり

- 子どもから高齢者まで誰もが集える公園づくり
- 公園・緑地を活用した地域住民の地域活動や健康づくりの促進
- 誰もが快適に過ごすためのルールづくり
- 利便性向上や防犯に向けた取組
- ナチュラルガーデンの育成を通じた豊かな生活環境の創出

#### イベント実施等による特別利用

- 鉄道やナチュラルガーデンをテーマとした事業の実施
- 地産地消・飲食イベント等の実施
- 地域団体や周辺企業等と連携した取組の実施

鶴ヶ島第二小学校

#### 道路整備の推進

- 安全性向上に向けた道路整備の推進

神明公園

鶴ヶ島文化会館

鶴ヶ丘児童公園

郵便局  
鶴ヶ島鶴ヶ丘  
公共鶴ヶ丘線

鶴ヶ島海洋センター

### 地域交流施設

#### 地域活動の拠点形成

- 柔軟な地域活動の促進
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用できる機会の創出
- 自治会活動や行事を支える機能の充実
- 多様なニーズに対応した機能配置
- 多世代交流を促す利用しやすい機能配置

#### 歩いて行ける身近な行政窓口の充実

- 地域福祉・健康づくりの場としての活用
- 市民センターや図書館機能の継承
- 地域に密着した市役所窓口の設置

#### 利便性向上に向けた新たな機能導入

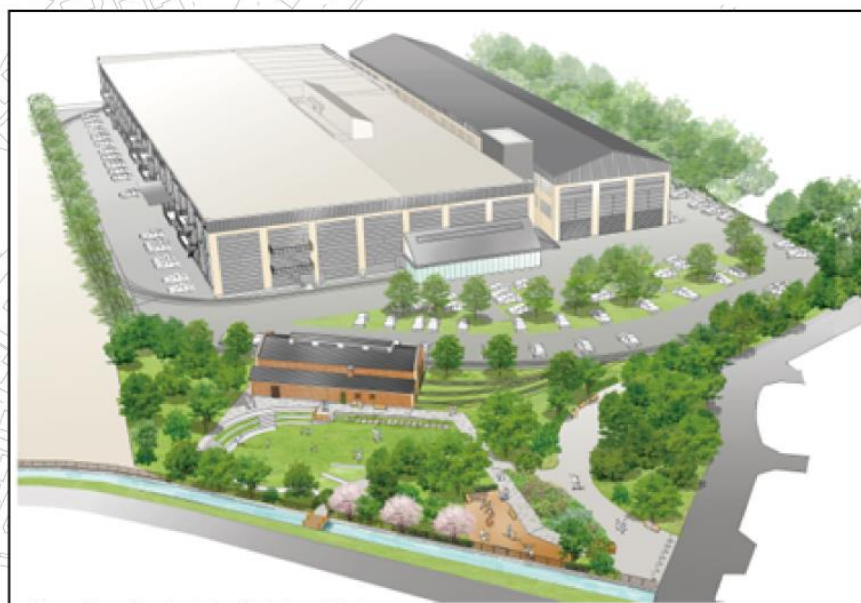
- 休憩スペースやカフェ機能の導入
- ガーデンパークとの一体的な活用
- 水路や水路沿いの一体的な活用

#### 快適な歩行空間の確保

- 道路美化活動の推進
- 地域における交通安全対策の充実
- ユニバーサルデザインに配慮した安全な歩行空間の整備
- テーマ性を持った良好な景観形成

- ソフト施策
- ハード整備

- 都市機能誘導区域
- 行政界



ガーデンパークの完成イメージ図